

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年1月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677400147
法人名	医療法人社団春陽会
事業所名	グループホーム春光苑
所在地	鹿児島県肝属郡肝付町新富536-2 (電話) 0994-68-8070
自己評価作成日	令和3年12月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年1月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・個別でリハビリやレクリエーションに取り組んでいる。
- ・カイゼン活動に取り組んでいます。
- ・一人ひとりにあったケアが出来る様に、その日の状態を把握できるようにしています。
- ・利用者様といつも一緒に寄り添えるよう、会話を心がけています。

ホームは、自然豊かな肝付町新富地区に、平成16年に法人母体の医療機関や居宅介護事業所、他の系列グループホーム等に隣接して開設されており、これらの事業所は法人本部が中心に運営や情報を共有し、災害時の協力やイベント、研修を合同で実施するなど協力体制を構築している。周辺には中学校や商店、個人住宅等が立ち並び、町役場にもほど近くて利便性も良い立地である。地域密着型事業所として開設以来、地域との交流を大切に取り組んできており、自治会に加入して地域の情報を把握し、清掃活動や地域行事に参加し、散歩時の挨拶、施設見学、ボランティア、友人知人の面会、隣接事業所の利用者との交流、住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアに関する相談に丁寧に対応するなど等、良好な関係を構築してきたが、コロナ禍に配慮して、現在はボランティアの受け入れや施設イベントへの住民参加等は控えている。

管理者及び職員は、ホームの理念をホール入口等に掲示し、3グループホーム合同での朝礼では唱和も行って周知を図っており、利用者が地域と触れ合いながら、「相手の気持ち、ゆとりある雰囲気、心と心のふれあい」を大切に、利用者主体のケアに努めている。食事の副菜は外部に委託しており、調理に要していた時間を利用者へのより良いケアになるよう取り組んでいる。利用者の心身の状態や生活習慣、ペース等に配慮し、意向に沿って趣味(ぬり絵、昔の音楽やビデオ視聴他)など個別の支援にも努めて、安全で生きがいのある暮らしとなるよう取り組んでいる。利用者及び家族からの要望等にも、職員会議等で協議して改善を図っており、本調査のアンケートの結果からも信頼関係が築かれている状況が窺える。

管理者及び職員は、日頃から気軽に意見を言い合える良好な人間関係を構築しており、日頃の業務の中や職員会議等で意見を出し合い、1時間の休憩時間の確保や個人的な事情、有給休暇の取得促進などに配慮しながら、サービスの向上や働きやすい職場環境の整備に努めている。資格取得に対する勉強会では前回取得した職員が指導者を務めるなど工夫して効果を上げている。法人による給与体系や福利厚生制度が確立しており、職員のモチベーションのアップに繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、理念を全員で唱和し、確認し合い、共有し意識づけている。	地域密着型事業所の意義を踏まえた理念を掲げており、毎朝、全員で唱和し、施設内にも掲示して周知を図っている。日頃の業務の中や職員会議、カンファレンス時にケアの振り返りや意見交換を行って理念を共有し、毎月の目標も設定して理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍にて交流が図れていない。	町内会に加入し、清掃活動への参加や外出時の地域の人との会話、農産物の差し入れ、面会や施設見学、ボランティア等を受け入れるなど、良好な関係が構築されているが、現在はコロナ禍のため、買い物や墓参、外出、外食、ボランティアの受け入れ等は自粛している。園庭での外気浴時には隣接事業所の利用者や職員と挨拶を交わし、住民から寄せられる電話や来訪による認知症ケアの相談には状況に応じた適切な助言を行う等の交流は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍にて実施できていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政や家族、スタッフと意見交換を行い、よりよい生活に繋がっている。	会議は隣接の同法人の3グループホームと合同で定期的に開催しているが、世間のコロナ感染の状況次第では一堂に会する会議の開催は控え、ホームの運営や行事、利用者の状況等の資料を委員に配布して意見をもらう書面での会議にしている。出された意見は職員会議等で協議してサービスの改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	管理者が、主に行政との連携を図っている。	町の担当者には窓口に出向いたり電話、メールで、介護保険の更新や各種制度に関する報告や協議、感染症予防に関する申請や報告等を行い、助言、指導、提案を貰うなど、日頃から協力関係を築いている。町やグループホーム連絡会主催のリモートによる研修や会議にも参加して、運営やサービスの向上に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	言葉使い等、言葉の拘束の改善を図っている。	身体拘束適正化については指針を整備しており、法人全体の権利擁護委員会が昨年4月に設置されて研修の実施や事例によるケアの方法、センサーの設置や除去等をテーマに会議が開催されている。身体拘束や高齢者虐待に関する勉強会も3グループホーム合同で計画的に実施して認識を共有している。不適切な言葉遣いやケアには、随時、注意や助言し合って拘束の無いケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し、勉強会を行い、虐待のないケアを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修に参加し、勉強会の中で報告し、スタッフ間で再確認している。必要な方は、活用できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の際、重要事項の内容・リスク等の説明を行っている。家族からの質問等も納得して頂けるように説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	委員会を設けて、相談・クレームなど対応し、対策を立てて実施している。家族へもアンケートを行い、意見等たずねている。	利用者や家族との信頼関係を大切に、気軽に意見を言って貰えるように日頃から努めている。利用者の思いは日常の会話や仕草等で汲み取り、家族からは面会（コロナ禍に配慮してパーテーション越しで実施）や電話、メール、アンケートの実施等で把握し、また、毎月発行の苑便りやリモート、ライン（週1回発信）で利用者の写真やコメントで実状を伝え、意見等を貰うように取り組んでいる。出された意見は職員会議等で協議して改善を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや日々の業務の中で意見を聞くようにしている。また、職員同士の意見交換の場を設け、業務改善等を行っている。	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える信頼関係を大切にしており、日頃の業務の中やミーティング時に意見や要望を出し合い、また、年2回実施の個別面談や必要に応じて個人的な対話も行って業務やサービスの改善に取り組んでいる。ケアに関する助言やスキルアップを図る研修を実施し、休憩時間（1時間）の確保や勤務シフトには有給休暇の取得や個人的事情も配慮する等、働きやすい職場づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得に応じて、手当で・給与の見直しを行い、意欲を持って働けるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者から代表者への報告で一人ひとりを把握できるように努めている。</p> <p>毎月、勉強会を行ったり、プリント研修や外部の研修にも参加できる機会を設けスキルアップをはかれるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の研修会を通して、交流する機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人・家族に希望を聞いて、カンファレンス等で情報を共有している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時に、家族に状況説明を行い、家族からの要望などを聞くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族に希望を聞いて、カンファレンスを行い、本人が出来ることやしたいことを取り入れるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人を尊重し、理解を深めながら、家族同様な関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、最近の様子を報告し、本人が生活しやすいように支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の希望や声掛けにて電話をかける支援を行っている。 馴染みの人会うことや馴染みの場所に行くことが、コロナ禍にて出来ていない。	昨年来コロナ禍が心配される状況が続いているが、感染予防対策を徹底したうえでパーテーション越し（短時間）の面会や隣接事業所の利用者との交流、訪問美容、少人数でのドライブ等に取り組んでいるが、一時帰宅や買い物、会食、外食、墓参、ボランティアの受け入れ等は控えている。家族との電話やLINE、メール、手紙等を取り次ぎ、また、苑便り等で利用者の状況を伝える等、可能な限り関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者・スタッフが、お茶を飲む介助や見守りしながら会話をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域で会う機会がある時は、挨拶・会話をするようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランの見直しの際、事前に本人・家族の要望を確認し、カンファレンスの際、本人を交えて話し合いを行っている。	入所時の関係者からの情報や、日頃の会話、表情、仕草等から利用者の思いを汲み取り、家族の意向も確認しながら利用者主体のケアに取り組んでいる。認知症を患ってもその人らしい生きがいのある生活となるように、趣味（ぬり絵、音楽やテレビ視聴、押し花他）や洗濯物たたみ、お盆拭きなどの家事の取り組みも、利用者の意向や残存能力等に配慮しながら個別に支援し、これらの成果には、評価や感謝の言葉を添えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、入居されてからは、入居者担当が中心になり、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝、本人へ体調を尋ねたり、バイタル測定を行い、記録している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを全員で行い、介護計画を立てている。 ケアの実施内容、気づいた点は記録に残している。	日頃から利用者や家族の思いや意向の汲み取りに努め、主治医の指示やモニタリング時の職員の意見等を基に、心身の状態や習慣、趣味等にも配慮した利用者主体の介護計画を作成している。利用者の状況の変化時には計画を実態に沿って変更し、利用者や家族の理解も得て改善に取り組んでいる。実施状況はバイタルチェック表や業務日誌等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は、見直し時、モニタリング等の意見交換の際に活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々でカンファレンスを行い、取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	努力はしているが、全て活用できているわけではない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診は月1～2回。状態に応じてその都度往診がある。必要に合わせて他科受診なども適切に行えている。	本人・家族が希望する医療機関での受療を支援しているが、殆どの入所者が協力医療機関（3医療機関）を主治医としている。定期的な訪問診療が実施され、他科受診については通常家族と協力して実施しているが、現在はコロナ禍に配慮してホームで対応している。協力医療機関との医療連携の体制が構築され、訪問看護も実施されている。日頃から健康管理を徹底し、健康状態は家族と密に連携を図っており、利用者及び家族の安心や信頼に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎週訪問があり、状態に応じて、報告を行い指示を貰っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中、入院前後もソーシャルワーカーを通して、入居者の情報をこまめに知ることが出来ている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期に入る際、主治医より家族に説明を行ってもらっている。家族・スタッフ・訪問看護と共に支援している。	利用開始時に本人や家族にホームでの看取り対応を説明して理解を得ている。入所後も利用者の状態変化に応じて意向の確認等を行い、重度化した時点で主治医より病状の説明がされている。主治医や看護師と連携して、可能な限り希望に沿った支援体制を構築しており、昨年3件の看取りを実施している。看取り実施中も、他の利用者は状況を冷静に受け止めて語りかける等、普通の生活を過ごしている。看取り終了後は振り返りや意見交換を行ってスキルアップを図っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時のマニュアルを作成。すぐ確認できる位置に掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災訓練は、消防署立ち会で年に1回行い、自主訓練を2ヶ月に1回行っている。</p> <p>地震訓練は、定期的に行っている。防災頭巾も使用している。</p>	<p>隣接の3グループホーム合同で夜間発生を想定した火災や風水害、地震対応の災害訓練を消防団の協力も得て実施している（年6回）。コロナ禍に配慮して地域住民の訓練参加は控えているが、災害時の連絡網には組み込まれている。日頃から避難経路や消火器の設置場所、AED操作等の確認を行い、対応を共有している。食料や飲料水は3日分を備蓄し、カセットコンロやラジオ、懐中電灯も備えている。隣接する事業所との災害時の協力体制も構築されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを守り、個人の状態に合わせた、声掛けなど行っているが、ノックせずに入室、命令口調になる事がある。	利用者の人格の尊重やプライバシーの保護、個人情報の対応については計画的な研修の実施や意見交換等で認識を共有しており、重要事項等にも明記されている。利用者の個性や習慣、心身の状態等にも配慮しながら自己決定を尊重した支援に努めており、居室やトイレ、浴室等もプライバシーに配慮した構造になっている。排泄や入浴時等の声掛けは羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや言葉遣いに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定が出来るように働きかけているが、スタッフの都合で誘導してしまうこともある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事など、個々のペースで時間を変え召し上がっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の希望を合わせて服を選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お盆拭き・茶碗洗い・台拭きなど自ら進んで手伝い等されている。	通常、副菜はすべて外部の業者に委託している。季節感を大切におせちや敬老会、クリスマス等の行事食や外注を中止しての恵方巻、園庭での弁当の昼食、お茶会、手作りのおやつ、昼食後の果物、餅つき、そば打ち等、食事が楽しみとなるように日々工夫しているが、コロナ禍に配慮して外食や家族との会食、弁当持参のドライブ等は自粛中である。利用者も台拭きや食器洗い等を楽しみながら一緒に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下や咀嚼の状態に応じて、食事形態を工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、出来る方には声掛けをし、出来ない方は介助している。 年1回、検診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	状態に合わせて行っている。	利用者の身体の状態やパターン、習慣等に応じた支援をプランに反映させて取り組んでおり、自尊心や羞恥心等にも配慮している。昼間は声掛け等で可能な限りトイレでの排泄を支援し、少数の利用者が夜間のみオムツやポータブルトイレを使用している。介護用品やケアの方法、利用者の残存能力等に注目しながら改善に取り組み、また、介護用品については業者の参考意見や新商品の勉強にも努めている。便秘の予防は主治医にも相談しながら対処しており、植物繊維の多い食事や乳製品、水分の摂取、運動量にも配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時のお茶時、手作りのヨーグルトを提供している。 便秘気味の方は、牛乳や食物繊維の多い食事を提供している。 運動や食事でも排便ない時は、主治医に相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日の希望はとれていないが、入る順番や身体に合わせた入浴の支援を行っている。	個浴での入浴を基本週3回支援しているが、必要時には、その都度、シャワー等で清潔を保っている。好みのシャンプーや順番、温度、時間、同性介助等は意向に沿って柔軟に支援して楽しんでもらっており、入浴後は皮膚疾患の軟膏塗布や水分補給を支援している。入浴をためらう利用者には無理強いのしないで、日程の変更や時間、声かけ、足浴への変更等の工夫で、利用者の意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝、夜間など個々の希望に合わせて休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	理解できる範囲で、尋ねられた時説明できるように心がけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に楽しめることやレクリエーションなど工夫して行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ドライブ等を行ったり、苑の周辺の散歩など季節感を味わっていただけるよう工夫している。	コロナ禍の為、地域のイベントも殆どが中止され、ホームの年間計画による外出の実施も困難な状況が続いている。感染予防対策を徹底して周辺の散歩や苑庭での日光浴、少人数でのドライブ、菜園の野菜やプランターの花を眺めるなど日常的に楽しんでいるが、買い物や一時帰宅、外泊、外食、墓参等の外出は控えている。室内での軽い体操やゲーム、音楽、ビデオ視聴等、工夫してリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>コロナ禍の為、外出の機会が少なく実施できていない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>誕生日、敬老の日など、手紙やプレゼントも家族からある。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎月、玄関に利用者の制作した壁画を飾っている。</p>	<p>ホールは天井が高く天窓も設置されて明るく余裕あるスペースが確保されており、テーブルやソファ、テレビ、空気清浄機等が利用者の利便や動線に配慮して設置されており、利用者は昼間の殆どを過ごしている。利用者の作品や写真、季節感のある活花や壁画、貼り絵等が随所に飾られて和やかな雰囲気になっている。清掃や空調、整理整頓を徹底し、感染症予防のための手指消毒剤等も設置され、また、不快に感じる音や臭い等もなく、利用者は四季を感じながら快適で平穏な日々を過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同空間の中で本を読んだり、テレビを視聴されたり利用者同士の会話もみられる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が希望する持ち物等は持ち込み、使用している。</p>	<p>居室はフローリングと畳部屋の2種類があり、利用者の心身の状態に合わせて畳部屋をフローリング風に模様替えするなど工夫している。全室、掃出し窓の構造で明るく余裕ある広さが確保されており、ベッド、エアコン、タンス、テレビが備えてある。利用者は家庭で愛用していた寝具や家族写真、小家具、湯のみ茶碗等を持ち込み、自身の作品や頂いた花等も飾って、その人らしい落ち着いた居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すり、標識等工夫して設置している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない